

# 特別セミナーのお知らせ

Designing tuneable synthetic biomolecular condensates to facilitate protein degradation  
(タンパク質分解を促進する合成生体分子凝縮体の設計)

## Dr Janet Kumita

MRC Career Development Award Fellow,  
Dept. of Pharmacology,  
University of Cambridge



日時

2024年11月26日 (火) 17:00–19:00

(+ 質疑応答時間あり)

場所

岡山大学鹿田キャンパス基礎研究棟 1F大学院セミナー室

要旨

高齢化社会では、神経変性疾患は増加傾向にあり、その治療法の開発が喫緊の課題となっている。パーキンソン病では、 $\alpha$ -シヌクレインによるアミロイド凝集体の形成が病態に直接関与することが知られている。しかし、その凝集過程は複雑で構造が絶えず変化するため、治療法の開発は困難である。本講演では、演者が開発を進めているオートファジーを利用したアミロイド凝集抑制法についてご紹介いただく。特に、相分離するテトラトリコペプチドリピート (CTPR) タンパク質と、オートファジー関連タンパク質LC3との相互作用を利用したアミロイド凝集抑制システムについての最新の知見、および疾患関連タンパク質を特異的に分解できる凝縮体の開発に関する将来展望についてご講演いただく。(講演は英語です。This is an English lecture.)

- 研究方法論 (基礎・応用) の授業に出席したとみなす講演会です。
- Kumita研究室は、MRI海外派遣先になっています。海外MRIを希望する医学部生も、ぜひ参加してください!

連絡先 : 生化学分野・竹田哲也 (ttakeda@okayama-u.ac.jp)